

原子力発電所

レポートダメ男

1. はじめに

原子力発電所とは、Wikipediaによると、原子力発電の方式による発電所[1]。原子炉の中でウランやプルトニウムが核分裂を持続的に、連鎖反動的に進行させ、その核分裂反応によって発生するエネルギーを熱エネルギーの形で取りだし（水を沸騰させて蒸気をつくり）それによって蒸気タービン（羽根車）を回転させて発電を行う発電所である[2] [3]（くわしくは表参照）。福島第一原子力発電所で事故があって以来、原発周辺の地域は放射能に汚染され、人間が住むことが難しくなってしまう、また周囲の作物も放射能に汚染され、風評被害の広がりによる食の安全性も損なわれてしまっている。

2. 原発の危険性

原発が危険ということについては山本氏が「原発は危険。まじやばい。いますぐクリーンエネルギーに切り替えた方がいい」と言っている。山本氏の言うとおりに、原発は危険。事故がなくても、放射性廃棄物が出て、その処理も危険である。表を見てもわかるように、世界的にも原発は危険と認知されている。クリーンエネルギーがあるのだから切り替えればいい。

3. 原発に変わる電力、クリーンエネルギー

【トピックセンテンス】

クリーンエネルギーとは、Wikipediaによると、クリーンエネルギーとは、「太陽光、風力、波力・潮力、流水・潮汐、地熱、バイオマス等、自然の力で定常的（もしくは反復的）に補充されるエネルギー資源より導かれ[7][8]、発電、給湯、冷暖房、輸送、燃料等、エネルギー需要形態全般にわたって用いる[7][9]。電力系統はスマートグリッドが主流となりつつある。」ものである。でも金崎氏は「クリーンエネルギーに変えられるならそれでいいけど、クリーンエネルギーは効率も悪いし、コストもすごいかかる。結局発電の仕組みが簡単で、コストが掛からず、効率のいい原子力発電所に私たちは頼らざるをえないのである。」と言っている。まったくもってそのとおりである。私達は毎日大量の電力を消費しており、電力の供給が不安定になることは、私たちは生活に大きな悪影響を及ぼすと考えられるが、クリーンエネルギーは自然の力を使って発電するものであり、環境にやさしいものではあるが、天候などに大きく左右され、常に安定した電力を供給することはできないので、クリーンエネルギーはリスクが大きい。私達は原子力発電所なしに生きていくことはできないのである。【結論】

コメントの追加 [TN1]: タイトル、名前の位置の変更
ヘッダーの挿入（日付・授業名自由）

コメントの追加 [TN2]: 段落の修正（フォント、段組み）

コメントの追加 [TN3]: 引用の修正。

コメントの追加 [TN4]: Wikipedia は出典をよってみる

コメントの追加 [TN5]: 表に言及するときは、、、？

コメントの追加 [TN6]: 段落の修正

コメントの追加 [TN7]: 段落の修正

コメントの追加 [TN8]: この段落のトピックセンテンスを
考えよう。

【トピックセンテンスの考え方】

その段落で一番伝えたいと思って書いていることは何か。それを要約して伝える。

コメントの追加 [TN9]: 文が長い。伝えようとするメッセージはそのまま、もう少し読みやすくできないものか。

コメントの追加 [TN10]: この段落の結論を書こう。

【】

表

コメントの追加 [TN11]: 表の挿入 (タイトル・出典・表の位置)

コメントの追加 [TN12]: 図の挿入 (タイトル・出典・図の位置)

図

参考文献

山本元喜「原発、やめとけ」

金崎信也「美しい国、美しい原発」

Wikipedia「原子力発電所」

Wikipedia「クリーンエネルギー」

コメントの追加 [TN13]: 出典の修正